

# 平成14年度 事業決算

科目 / 事業	決算 (千円)	備	考
水産業費	577,997		
①水産試験場費	533,122		
水産試験場職員費	414,128		
" 運営費	35,979		
整備費	30,171	内国庫補助事業費	15,916
水産調査試験研究費 (漁業室)	52,698 (26,792)		
バヤオ周辺でのマグロ類遊泳行動調査	3,316	県 単	
ソデイカ漁業総合対策調査	6,216	県 単	
マチ類の漁業管理推進調査	1,333	県 単	
漁獲情報収集管理事業	387	県 単	
新漁業管理制度推進情報提供事業	2,632	国補助	
海洋動態解析事業	2,500	国補助	
日本周辺高度回遊性魚類資源調査	1,707	国委託	
沖合海域海洋観測調査	4,701	国委託	
マグロ類回遊行動生態調査 (増殖室)	4,000 (11,629)	国委託	
ミミガイ類の種苗生産及び養殖技術の開発	1,479	県 単	
スギ等種苗量産技術開発試験	3,100	県 単	
モズク類の採苗・育苗技術改良試験	1,778	県 単	
魚介類の耐病性試験	2,316	県 単	
養殖漁場環境調査	1,624	県 単	
特定海域海産生物放射能調査 (八重山支場)	1,332 (14,277)	国委託	
ヤイトハタ種苗量産技術開発試験	4,890	県 単	
ヒレナガカンパチの種苗量産技術開発	6,749	県 単	
ヒレナシジャコの増養殖試験	1,020	県 単	
クロチョウガイ稚貝の大量斃死原因調査	1,618	県 単	
②行政対応等事業費	44,875		
(庶務課)	(4,160)		
運営費等	4,160	県単 (水・漁・企)	
(漁業室)	(4,687)		
沿岸漁場整備開発事業	2,387	国補助・県単 (漁)	
資源管理型漁業推進総合対策事業 (増殖室)	2,300 (22,276)	国補助 (水)	
魚類防疫体制整備事業	6,446	国補助 (水)	
沿岸漁場整備開発調査事業	7,979	国補助 (漁)	
資源増大技術開発事業 (シラヒゲウニ)	4,013	国補助 (水)	
スギ・トコブシ養殖推進事業	3,538	県 単 (水)	
栽培漁業推進対策事業 (タイワンガザミ) (八重山支場)	300 (13,752)	国補助 (水)	
資源増大技術開発事業 (ヤコウガイ)	3,576	国補助 (水)	
川平保護水面管理事業	777	国補助 (水)	
名蔵湾保護水面管理事業	777	国補助 (水)	
栽培漁業推進対策事業 (スジアラ)	495	国補助 (水)	
ヒメジャコ種苗生産事業	3,660	県 単 (水)	
シャコガイ増養殖技術開発事業 (ヒレジャコ)	3,047	県 単 (漁)	
タカセガイ増殖場効果調査	1,420	県 単 (漁)	

凡 例：国委託：(独)水産研究所委託予算、国補助：国庫補助予算、県単：県単独予算、  
 (水)：水産課対応予算、(漁)：漁港・漁場課対応予算、(企)：農林水産企画課対応予算  
 千円単位にしたことにより積み上げとは必ずしも一致しない。

[沿革]

大正 10 年 (1921)	4 月	沖縄県水産試験場設立、事務所を県庁内に置く
昭和 2 年 (1927)	11 月	調査船初代「図南丸」100 トン竣工
3 年 (1928)	3 月	那覇市垣花町に庁舎新築
19 年 (1944)	12 月	空襲により焼失
23 年 (1948)	7 月	沖縄水産試験場として再出発、事務所を沖縄民政府内に置く
25 年 (1950)	4 月	琉球水産研究所に改称
27 年 (1952)	3 月	佐敷町馬天に庁舎新築移転
32 年 (1957)	5 月	那覇市泊に庁舎新築移転
35 年 (1960)	5 月	調査船第 2 代「図南丸」159 トン竣工
41 年 (1966)	8 月	調査船初代「くろしお」21 トン竣工
	10 月	石垣市に支場として八重山水産模範養殖場設置 (日政援助) 本場の研究室をこれまでの漁労・製造・増殖の 3 部門から資源調査が 加わり 4 研究室となる。さらに庶務課が設置される。
45 年 (1970)	1 月	琉球水産研究所、同八重山支所に改称
	10 月	琉球水産試験場、同八重山支場に改称
47 年 (1972)	4 月	復帰に伴い沖縄県水産試験場及び同八重山支場に改称 本場は 1 課 4 研究室体制から 1 課 2 室体制となる。
49 年 (1974)	8 月	糸満市に本場庁舎新築移転 (国庫 1/2)
50 年 (1975)	1 月	調査船第 3 代「図南丸」216 トン竣工
55 年 (1980)	3 月	調査船第 2 代「くろしお」34 トン竣工
58 年 (1983)	4 月	本部町に栽培漁業センター (支場) 開設
63 年 (1988)	4 月	同センターとして独立
平成元年 (1989)	3 月	大型飼育棟新設 (国庫 1/2 本場)
2 年 (1990)	3 月	水産情報管理棟新設 (国庫 1/2 本場)
4 年 (1992)	3 月	第 2 研究棟新設 (国庫 1/2 八重山支場)
5 年 (1993)	9 月	八重山支場全面増改築開始
7 年 (1995)	3 月	調査船第 4 代「図南丸」176 トン竣工
8 年 (1996)	2 月	調査船「くろしお」34 トン廃船
	3 月	八重山支場全面改築竣工
13 年 (2001)	4 月	機構改革に伴い水産業改良普及所と統合

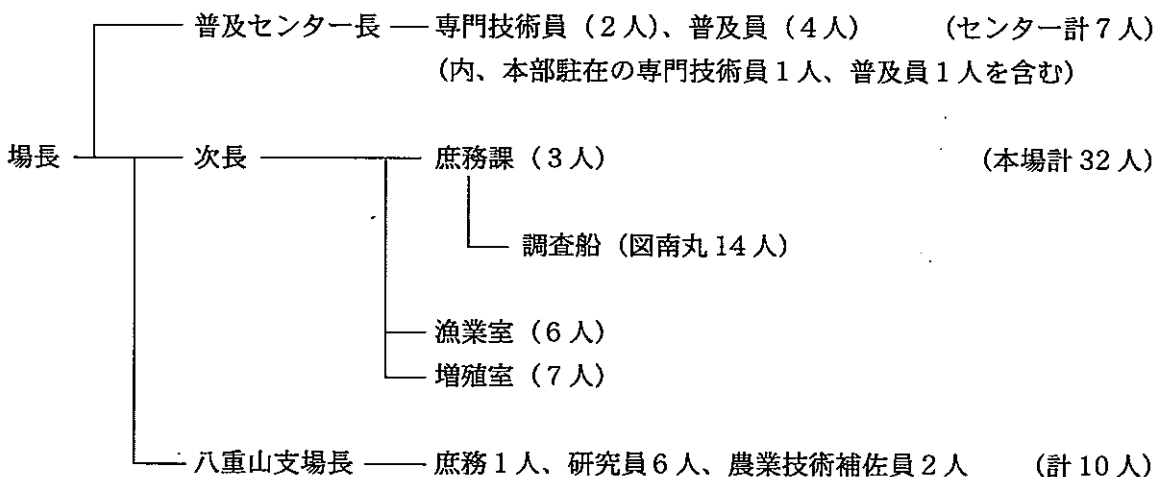
[施設]

	本 場	八重山支場
敷地面積 (㎡)	19,551	23,622
本 館 (㎡)	1 階建 1,045 (研究棟含む)	1 階建 248
飼育実験棟 (㎡)	3 棟 914	1 棟 200
開放実験棟 (㎡)	1 棟 223	— —
魚病実験棟 (㎡)	1 棟 99	— —
研 究 棟 (㎡)	— —	2 棟 402
屋外実験池 (㎡)	29 面 281	38 面 1,733
屋内実験池 (㎡)	10 面 222	35 面 1,141
展 示 棟 (㎡)	— —	1 階建 192

調査船 図南丸 176 トン・1,200 HP 平成 7 年 (1995) 3 月竣工

〔組織〕

沖縄県農林水産部……………水産課…………… 沖縄県水産試験場（49人）



〔職員〕

(平成14年4月1日現在)

	本 場						八重山 支 場	計
	場 長	次 長	庶務課	漁業室	増殖室	普及センター		
行政職			3				1	4
研究職	1	1		6	6		7	21
専門技術員						2		2
普及員						5		5
海事職			14					14
現業職					1		2	3
計	1	1	17	6	7	7	10	49

平成14年度 職員名簿

本 場

場 長	(技)	糸 満 盛 健	主任研究員	(技)	海老沢 明 彦
次 長	(技)	照 屋 忠 敬	研 究 員	(技)	下 條 武 格
庶務課			研 究 員	(技)	太 田 格
課 長	(事)	伊 佐 正 義	研 究 員	(技)	福 田 将 数
主 査	(事)	仲宗根 真由美	研 究 員	(技)	加 藤 美奈子
主 事	(事)	仲井眞 美 幸	増殖室		
漁業室			室 長	(技)	島 袋 新 功
室 長	(技)	渡 辺 利 明	主任研究員	(技)	杉 山 昭 博
			主任研究員	(技)	佐 多 忠 夫

主任研究員 (技)	諸見里 聰	函南丸	
研究員 (技)	中村 博幸	船長 (技)	外間 実
研究員 (技)	熊谷 明子	機関長 (技)	安次富 清栄
農業技術補佐員	吉里 文夫	通信長 (技)	大田 茂
普及センター		航海士(一航士) (技)	横田 森夫
センター長 (技)	瀬底 正武	航海士(二航士) (技)	上原 英雄
専門技術員 (技)	與那嶺 盛次	一等機関士 (技)	翁 長安
専門技術員(駐在) (技)	大城 信弘	機関士(二機士) (技)	新崎 悟
普及員 (技)	中村 勇次	主任(操機長) (技)	宮城 吉男
普及員 (技)	山田 真之	主任(甲板長) (技)	豊見山 彰彦
普及員 (技)	城間 一仁	主任(機関員) (技)	新垣 昇
普及員(駐在) (技)	牧野 清人	主任(司厨長) (技)	桃原 慧
		主任(甲板員) (技)	平安名 盛正
		船員(三機士) (技)	池城 賢良
		船員(甲板員) (技)	柴田 真琴

#### 八重山支場

支場長 (技)	藤木 裕	研究員 (技)	仲盛 淳
主任 (事)	前盛 義和	研究員 (技)	岩井 憲司
研究主幹 (技)	多和田 真周	研究員 (技)	仮俣 洋文
主任研究員 (技)	久保 弘文	農業技術補佐員	呉屋 秀夫
研究員 (技)	近藤 忍	農業技術補佐員	仲本 光男

### 平成14年度職員移動 (転入・転出)

#### 転出 (旧所属)

喜屋武俊彦 (次長) 水産課へ  
 鹿熊信一郎 (漁業室長) 亜熱帯総合研究所へ  
 勝俣 亜生 (八重山支場主任研究員) 水産課へ  
 安井 里奈 (八重山支場研究員) 八重山支庁農林水産振興課へ  
 小嶺 勲 (庶務課長) 国保・援護課へ

#### 転入 (現所属)

照屋 忠敬 (次長) 水産振興課から  
 島袋 新功 (増殖室長) 栽培漁業センターから  
 伊佐 正義 (庶務課長) コザ涉外労務管理事業所から  
 近藤 忍 (八重山支場研究員) 水産振興課から  
 熊谷 明子 (増殖室研究員) 新採用  
 狩俣 洋文 (八重山支場研究員) 新採用

#### 配置換 (現所属)

渡辺 利明 (漁業室長) 増殖室長から